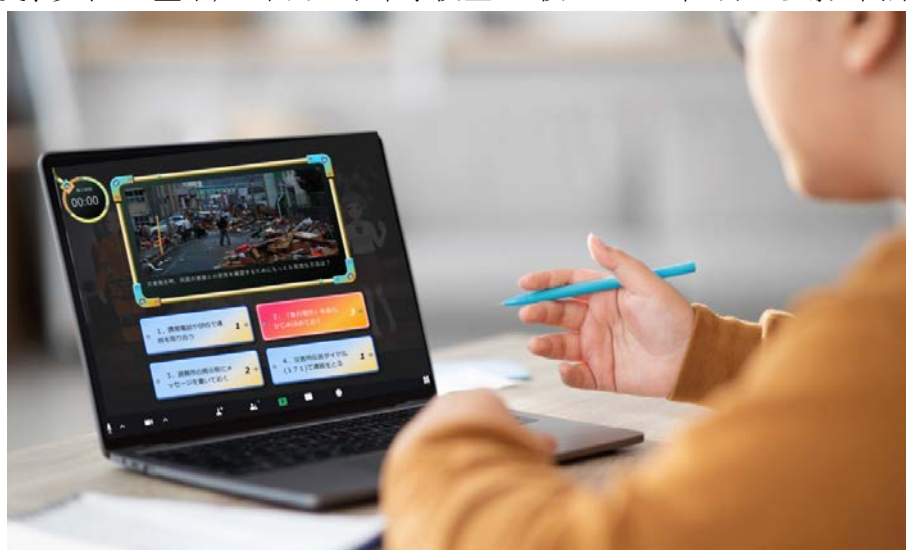


凸版印刷、小中学生向けデジタル防災教育教材「デジ防災™」を開発 1回約10分で小中学生が楽しく防災を学べる防災教育教材を開発、 香川県三豊市にて導入

凸版印刷株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:磨 秀晴、以下 凸版印刷)は、自然災害の対策として、児童・生徒の防災レベルを引き上げるデジタル教材「デジ防災™」を開発、2023年1月より提供開始しました。

なお、提供開始に先立ち、「デジ防災™」は、防災教育の推進や教育のDXに取り組む香川県三豊市(市長:山下 昭史、以下 三豊市)で市内の小中学校全26校に2023年1月から導入開始します。



「デジ防災™」授業イメージ

©TOPPAN INC.

■ 開発の背景

近年、自然災害が激甚化・頻発化の傾向にあり、学校での防災教育の拡充が求められています。現在、防災教育のほとんどは、学校内での避難訓練が主ですが、コロナ禍においては子どもたちが集まって避難訓練することが難しくなっています。

現在「GIGAスクール構想」により、小中学校では1人につき1台のデジタルデバイスが配置され、学校教育の現場でのICT環境の整備が進んでいますが、オンラインでの防災教育の実施には、「学校のカリキュラムが忙しくて対応できない」「実効的な取り組みに結びついていない」、「地域・学校ごとに取り組み内容や意識に格差がある」などの課題がありました。

これまで凸版印刷では、オンライン津波避難訓練システム「リアルハザードビューア®」や自治体向け住民見守りサービス「あんしんライト」などの、防災関連のサービス開発・提供を行ってきました。

この度、このような防災の知見を培ってきた凸版印刷は、上記の課題解決のため、デジタルデバイス上で児童・生徒が防災を学習できる「デジ防災™」を開発しました。

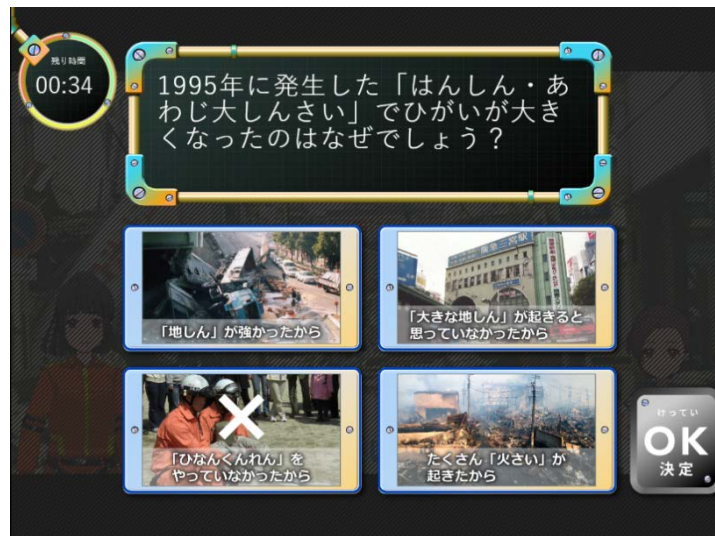
■ 「デジ防災™」の特徴

「デジ防災™」は、デジタルデバイスを使用し1回 10～15 分の短時間で決められた内容を学習できるため、忙しい学校カリキュラムを削ることなく、密にならずに地域や学校による防災教育の格差を是正することができます。

また、児童・生徒の回答結果を可視化するシステムを搭載しているため、実際に学習内容が身についているかどうか確認することができます。

・1 回約 10 分で防災の知識を段階的に深められる専門家監修の全 80 コンテンツ

防災教育学会会長 諏訪 清二氏をはじめとする防災教育の専門家監修のもと、小学 1 年生から中学 2 年生まで、段階を踏んで着実に防災知識を習得できるよう、クイズ形式で各学年10 コンテンツ、計 80 コンテンツを用意しています。1 回の所要時間は 10～15 分となっており、忙しい学校カリキュラムを削ることなく、継続的に体系立てて学習することができます。

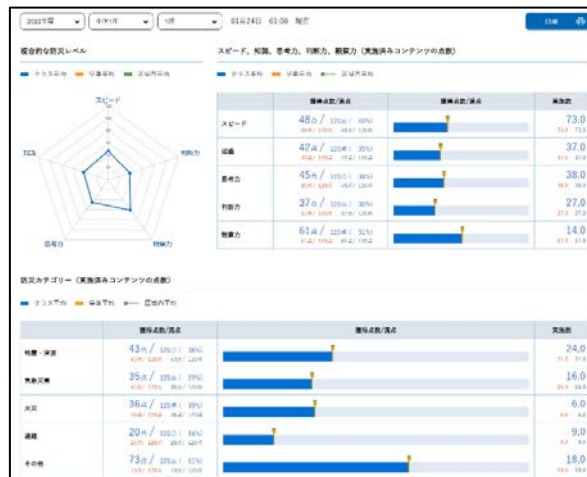


「デジ防災™」生徒用学習画面例

©TOPPAN INC.

・児童・生徒の防災習熟レベルを可視化

児童・生徒の学習結果のデータを蓄積し、クラス単位・学校単位・地域単位での防災レベルを管理することができ、地域の防災計画に役立てることができます。また、年度毎の結果推移やウィークポイントを可視化することで、防災知識の偏りをなくします。



防災レベルの可視化画面

©TOPPAN INC.

・環境に依存しない簡単な導入方法と格差のない均一な学習

ブラウザを使用するため、導入端末に関わらず均一な学習が可能です。

また、教職員用の指導手引きシステムを搭載しているため、正しい防災知識を児童・生徒に伝えることができ、教職員の授業準備の負担も軽減できます。

■ 価格

15 万円/年(在校生 100 人以上・1 校あたり)

10 万円/年(在校生 100 人未満・1 校あたり)

■ 今後の目標

凸版印刷は、「デジ防災™」を全国の小中学校に提供し、2025 年までに 3.5 億の売上を目指します。また、「デジ防災™」で全国の小中学生の防災知識の底上げに貢献します。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上